

Development of Interstand Thickness Gage for Hot-Strip-Finisher Mill

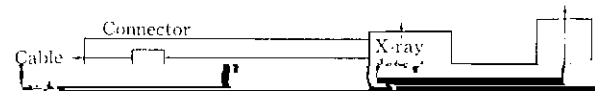
(Junzo Nitta)	(Takashi Mikuriya)	(Ichiro Maeda)
(Toshisada Takechi)		

:			
		X	
2		C	
			1.00 35.00mm
			X

Development of Interstand Thickness Gage

要旨

ホットストリップミルの仕上スタンド間に設置可能な X 線厚さ計の開発、その原理、構造、動作、使用法について報告する。



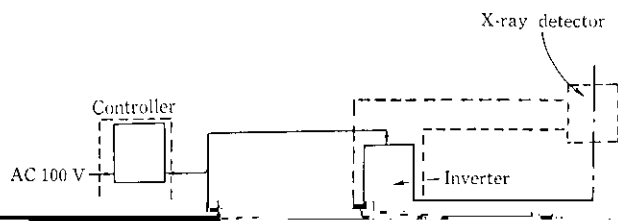
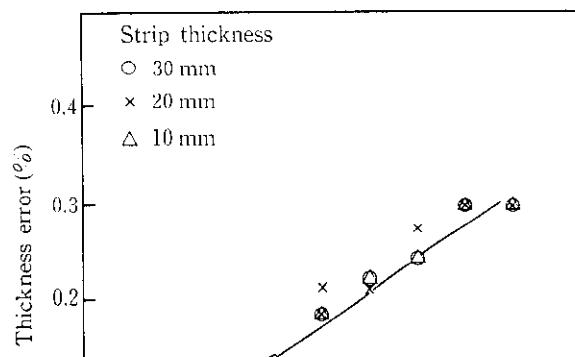
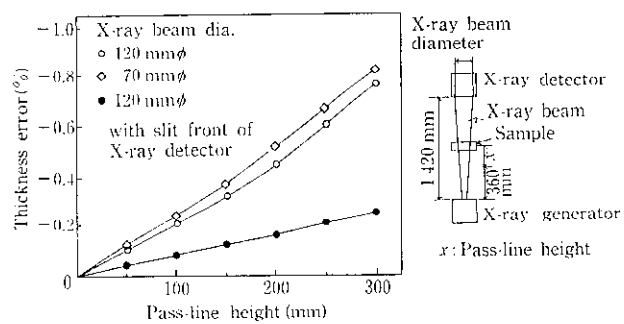
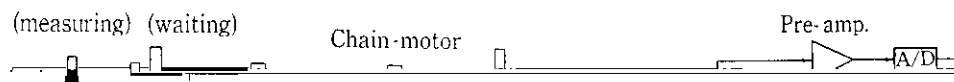


Table 1 Stability of X-ray generator

Item	Target of stability	Result of stability
Voltage of X-ray tube	$\pm 0.1\%/8\text{ h}$	$\pm 0.0035\%/8\text{ h}$
Current of X-ray tube	$\pm 0.2\%/8\text{ h}$	$\pm 0.02\%/8\text{ h}$





Strip thickness = 2.560 mm

通板予測モデルで設定した、途中スタンドの板厚予測値の誤差を、スタンド間厚さ計で検出する。この検出誤差をもとに下流スタンドの通板設定値を正確に修正することで、鋼板の先端板厚精度を向上させることができる。

線厚さ計と同等である。

スタンド間厚さ計としては、以下の特徴がある。

- (1) 厚さ計検出部は、Cフレーム構造であり、Cフレーム下部寸法は長さ 370 mm、幅 380 mm であり、両側面が開口部となる。

Fig. 17 は、F3 スタンド出側のスタンド間厚さ計の出力をもとに、F4 スタンドに対して、フィードフォワード AGC を実施した

る寸法である。

- (2) スタンド間ルーバーの上下動による厚さ測定誤差を解消する